



2021年1月22日

各位

会社名	株式会社 IMAGICA GROUP	
代表者の役職氏名	代表取締役社長	布施 信夫
	(コード番号：6879 東証第一部)	
問合わせ先	取締役常務執行役員	森田 正和
TEL	03-6741-5742	

新会社（子会社）設立と映像制作サービス事業の構造改革、グループ事業再編の実施 及び当社と連結子会社の希望退職募集に関するお知らせ

当社は本日の取締役会において、グループの成長と収益力向上を目的として、新たに子会社2社（株式会社 IMAGICA エンタテインメント メディアサービス、株式会社 IMAGICA Lab.^(注)）を設立し、映像制作サービス事業の構造改革とグループ事業再編を実施することを決議いたしましたので、お知らせいたします。^(注)現在の株式会社 IMAGICA Lab.（以下「現 IMAGICA Lab.」）の名称を継承

また、当社と現 IMAGICA Lab. は下記の通り希望退職の募集を行うことを決定いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 目的と概要

当社グループはこれまで、中期経営戦略「総合力 2021」の5つの基本戦略に基づき事業を推進してまいりました。

2020年度におきましては、4つの重点施策として1. 新たなグローバル戦略の構築、2. 新たなエンタテインメントの在り方を提案、3. 映像制作改革への挑戦、4. 産業界での映像活用 の取り組みを展開し、グループの変革を推進継続しております。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う当社グループ経営への影響は大きく、且つ経営環境は引き続き厳しいものと認識していますが、一方で「映像」を活用する新たなビジネスチャンスが拡大しており、その取り組みを強化するとともに、グループ全体の事業構造を改革する機会であると捉えております。

そのような状況の中、4つの重点施策のうち「新たなグローバル戦略の構築」と「映像制作改革への挑戦」を実現するために、新会社2社の設立と映像制作サービス事業の構造改革、グループ事業再編を実施することといたしました。具体的内容は以下の通りです。

(1) 新たなグローバル戦略の構築

海外事業については、2020年10月に Pixelogic Holdings, LLC（以下「Pixelogic」）を連結子会社化し、また本日付で SDI Media Group, Inc. の株式譲渡契約を締結いたしました。

今回、エンタテインメント事業等^(注)を展開する新会社（株式会社 IMAGICA エンタテインメントメディアサービス）を設立、この新会社を核に Pixelogic と一体経営を行うことでグローバル経営体制を確立し、当社連結子会社の Picture Production Company.（本社：英国ロンドン、クリエイティブプロダクション エージェンシー）と共に、グローバル E2E サービスを拡大させ、グループの成長と収益の柱としてまいります。

^(注) エンタテインメント事業等：映画・ドラマ・アニメ等の映像コンテンツ制作及び流通関連技術サービス（配給・配信・パッケージ・ローカライズ等）、ならびにフィルム関連サービス事業

(2) 映像制作改革への挑戦

①テレビ番組、テレビCM等ポスプロ事業の収益力向上

テレビ番組、テレビCMのポストプロダクションサービス事業に特化した新会社（株式会社IMAGICA Lab.）を設立、高い技術サービス力により、顧客満足度の最大化を図り、作業工程のクラウド化やリモート制作の促進等、事業環境の変化に対応できる新しいポストプロダクションに生まれ変わることで、経営体質を改革し、収益力の向上を目指します。

②グループ事業会社のコア事業の明確化

グループの総合力をさらに発揮できる体制を目指し、各事業会社のコアコンピタンスに基づいて関連事業を再編いたします。

1) 当社連結子会社の株式会社イマジカデジタルスケープ（以下、「IDS」）において、成長事業であるゲーム事業領域のソリューションサービス事業を更に強化すべく現IMAGICA Lab.のゲーム・グラフィック関連事業を吸収分割いたします。

2) 現IMAGICA Lab.の撮影技術、映像制作事業を、当社連結子会社の株式会社コスモ・スペースへ吸収分割いたします。人材リソースの集中により今後ニーズが拡大する企業向け映像の撮影や企画制作サービスを強化し、競争力向上と事業拡大を目指してまいります。

③グループ技術開発部門の設置・統合

新たなビジネスモデルへの転換と新規事業創出の鍵となる技術開発力を高めるため、当社連結子会社である株式会社フォトロン（以下「フォトロン」）にグループとしての技術開発部門を新設いたします。

またグループの技術開発リソースを集中し、新しい技術の開発や事業化の加速を目指すため、映像制作やコンテンツ流通をサポートするためのプラットフォームを開発する現IMAGICA Lab.の技術研究開発本部をフォトロンへ吸収合併し、ビッグデータの可視化とリアルタイムコンテンツの開発を手掛けるIDSのデジタルリアリティラボチームをフォトロンに吸収分割いたします。

このことにより、技術プラットフォームを活用した新しいサービスをお客様に提供するとともに、グループ内の映像制作やコンテンツ流通を促進するクラウドシステムの拡充と最新テクノロジーを駆使した新たな映像表現を提案してまいります。

2. 新たに設立する子会社について

子会社①

名称	株式会社IMAGICA エンタテインメント メディアサービス (2021年4月1日付けで現名称の「IMAGICA ET」から変更予定)
承継する事業	現IMAGICA Lab. のエンタテインメント事業等 ^(注)
代表者	森田 正和 (2021年4月1日以降の代表者は未定)
設立日	2021年1月15日
資本金	1百万円 (2021年4月1日付けで100百万円に増資予定)
決算期	3月31日
大株主及び持株比率	当社100%

子会社②

名称	株式会社IMAGICA Lab. (2021年4月1日付けで現名称の「IMAGICA CT」から変更予定)
承継する事業	現IMAGICA Lab. のテレビ番組、テレビCMのポストプロダクションサービス事業
代表者	森田 正和 (2021年4月1日以降の代表者は未定)
設立	2021年1月15日
資本金	1百万円 (2021年4月1日付けで100百万円に増資予定)
決算期	3月31日
大株主及び持株比率	当社100%

3. グループ事業再編の要旨

(1) 再編の内容

① 現 IMAGICA Lab. の事業再編

現 IMAGICA Lab. の事業を以下の通り再編し、新設する子会社2社と当社の連結子会社3社に吸収分割並びに合併いたします。

事業及び会社名	吸収分割承継もしくは合併会社	方式
エンタテインメント事業等 ^(注)	株式会社 IMAGICA エンタテインメント メディアサービス	吸収分割
テレビ番組、テレビCM ポストプロダクションサービス事業	株式会社 IMAGICA Lab.	吸収分割
ゲーム・グラフィック関連事業	株式会社イマジカデジタルスケープ	吸収分割
撮影技術、映像制作事業	株式会社コスモ・スペース	吸収分割
現 IMAGICA Lab. (技術研究開発並びに上記事業以外の機能)	株式会社フォトロン	吸収合併

② 株式会社イマジカデジタルスケープの一部事業の再編

同社のデジタルリアリティラボチームをフォトロンへ吸収分割いたします。

(2) 日程

会社分割・吸収合併取締役会決議日（当社）	2021年1月22日
会社分割・吸収合併契約締結日	2021年1月26日
効力発生日	2021年4月1日（予定）

(3) 当該組織再編の当事会社の概要

(2020年3月31日現在)

	吸収分割会社	吸収分割承継会社
名称	株式会社 IMAGICA Lab.	株式会社イマジカデジタルスケープ.
所在地	東京都品川区東五反田二丁目14番1号	東京都渋谷区道玄坂一丁目10番8号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大林 克己	代表取締役社長 篠原 淳
事業内容	各種映像技術サービス	人材サービス、デジタルコンテンツ事業など
資本金	100百万円	100百万円
設立年月日	2006年2月2日	1995年10月4日
決算期	3月31日	3月31日
大株主及び持株比率	当社 100%	当社 100%

	吸収分割承継会社	吸収合併会社
名称	株式会社コスモ・スペース	株式会社フォトロン
所在地	東京都千代田区四番町5番地6	東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 市川 精也	代表取締役社長 瀧水 隆
事業内容	テレビ番組や企業プロモーション映像の企画制作、番組・イベントの撮影収録技術、放送局への技術者派遣	民生用および産業用電子応用システム（CAD 関連ソフトウェア、高速度カメラ・画像処理システム、放送用映像機器、映像情報関連システム、その他）の開発、製造、販売、輸出入
資本金	30 百万円	100 百万円
設立年月日	1979 年 6 月 5 日	1968 年 7 月 10 日
決算期	3 月 31 日	3 月 31 日
大株主及び持株比率	現 IMAGICA Lab. 80% 株式会社 日テレ・テクニカル・リゾ ーンズ 20%	当社 100%

(4) 分割・承継する事業の経営成績

事業名称	2020 年 3 月期 売上高
現 IMAGICA Lab. エンタテインメント事業等 ^(注)	5,643 百万円
現 IMAGICA Lab. テレビ番組、テレビ CM のポストプロダクションサービス事業	6,540 百万円
現 IMAGICA Lab. ゲーム・グラフィック関連事業	1,149 百万円
現 IMAGICA Lab. 撮影技術、映像制作事業	981 百万円
IDS デジタルリアリティラボチーム	134 百万円

4. 希望退職募集について

(1) 理由

当社グループが属する映像業界においては、映像業界の改革が進む一方、新型コロナウイルス感染症拡大により、国内映像市場において厳しい事業状況が続くと予測されています。

当社グループといたしましては、管理部門の統合による業務効率化の推進、グループ全体での不要不急の投資抑制に加え、本日発表した新会社設立、グループ事業再編など、様々な対策を講じておりますが、今後持続的な成長並びに業績回復を実現するためには、更に抜本的な構造改革が不可欠であると考え、その一環として変化に適応できる組織・人員体制の構築を目指し、希望退職の募集を決定いたしました。

(2) 概要

- ①募集人数 当社：10 名程度 現 IMAGICA Lab.：90 名程度
- ②退職日 両社とも 2021 年 3 月 31 日
- ③優遇措置 割増退職金や再就職支援サービスなどの優遇措置を提供

5. 今後の見通し

今回の再編に関する当事会社は、いずれも当社の連結子会社であるため、当社連結業績への影響は軽微です。

希望退職実施による影響額につきましては、確定した段階でお知らせいたします。

以上

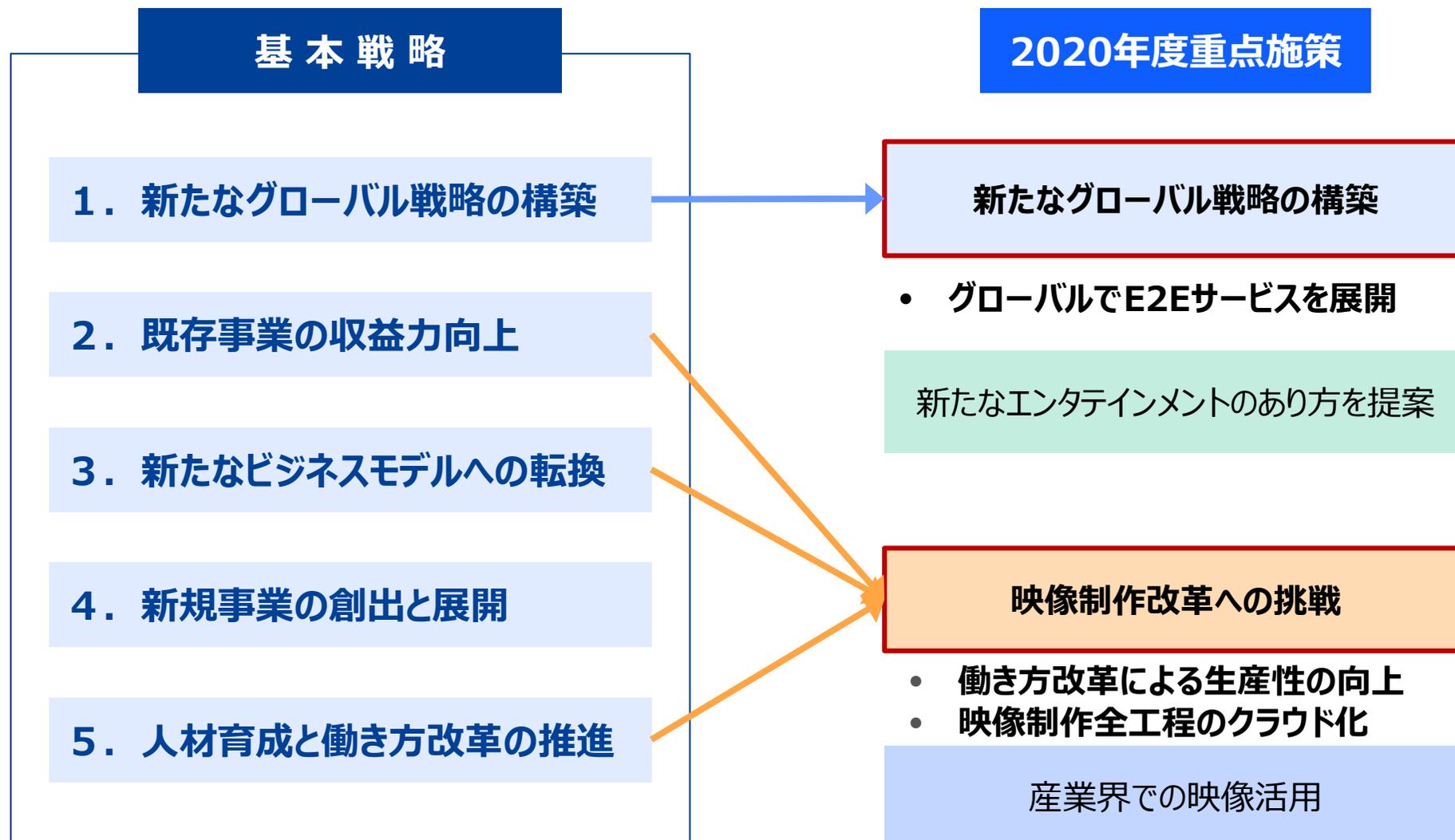
新会社設立と映像制作サービス事業の構造改革、 グループ事業再編に関する補足資料

2021年1月22日



中期経営戦略における位置づけ

中期経営戦略「総合力2021」の実現に向け、映像制作サービス事業の構造改革とグループ再編によりグローバル戦略の構築と映像制作改革を推進



具体的実施内容

新たなグローバル戦略の構築

1

IMAGICA Lab.のエンタテインメント事業を分離独立
Pixelogicと連携強化し、**グローバルE2Eサービスの展開を拡大**
グループの成長を牽引し高収益体質を目指す

2

IMAGICA Lab.のTV/CMポスプロ事業を分離独立
クラウド化やリモート制作等による新しいビジネスモデルへ変革し、
強固な収益体質を構築し生まれ変わる

3

グループ事業会社のコア事業を明確化
IMAGICA Lab.の撮影事業、映像制作事業、ゲーム関連事業を
グループとして再編/集約し、事業の最適化と最大化を図る

4

グループ全体の技術開発部門をフォトロンに設置
IMAGICA Lab.とIDSの技術人材をフォトロンへ統合
グループとして映像制作改革を加速させる

映像制作改革への挑戦

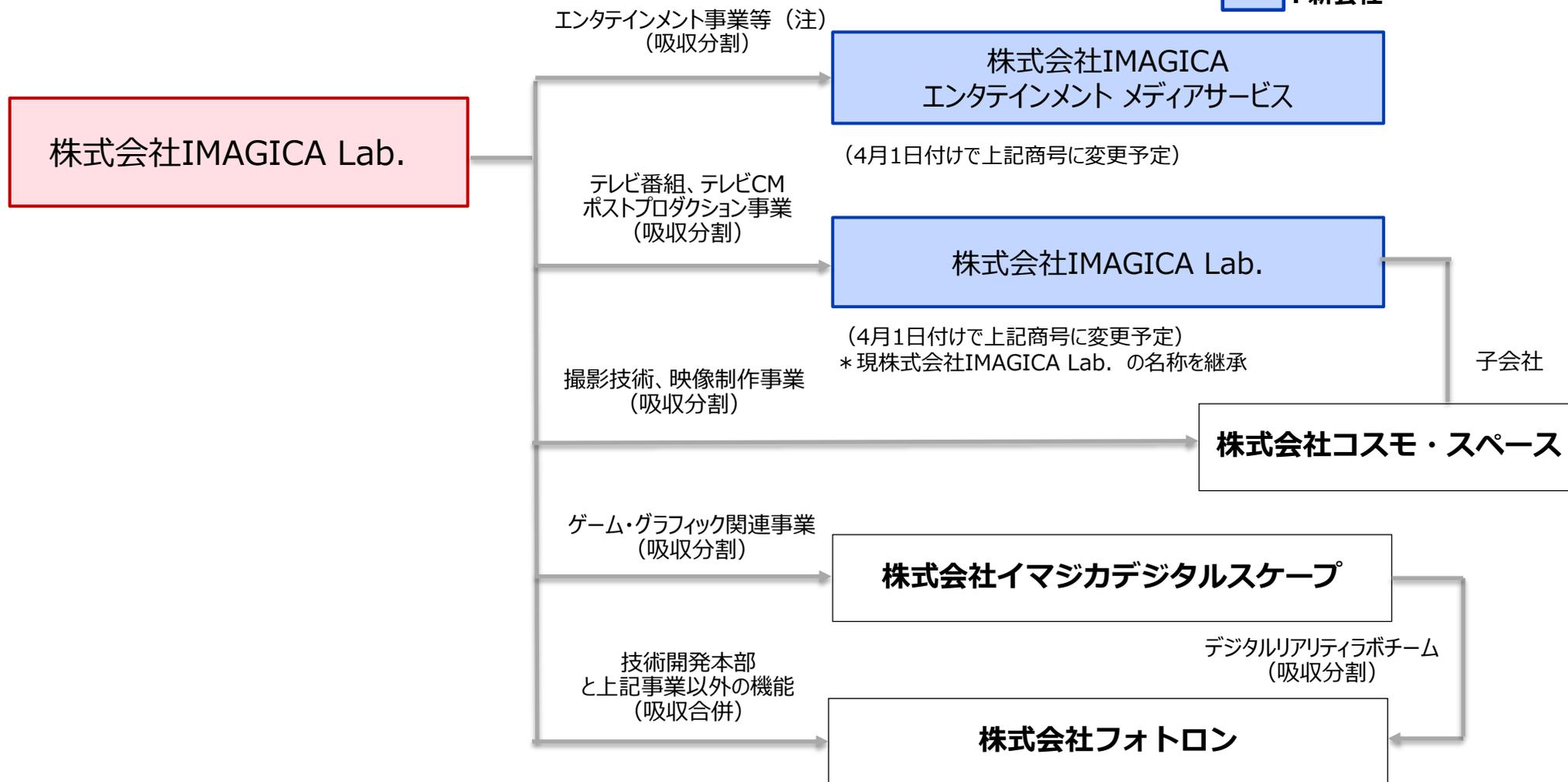
グループ事業再編全体図

【現状】

【再編後】

2021年4月1日以降

: 新会社



(注) エンタテインメント事業等：映画・ドラマ・アニメ等の映像コンテンツ制作及び流通関連技術サービス（配給・配信・パッケージ・ローカライズ等）、ならびにフィルム関連サービス事業